

2017年9月15日

第41号

# 全労連

全労連  
憲法・平和グループ

# 憲法 平和闘争ニュース

## 全労連「憲法大学習運動月間」スタート！ 安倍9条改憲止める「3000万人署名」 「発議させない」運動に出足早く踏み出そう

全労連は、9月1日、「安倍改憲許すな！ 全労連憲法大学習運動月間」スタート集会を開催しました。主催者あいさつで、小田川義和議長は、「国民のたたかいで、改憲の動きを止めよう」と呼びかけました。自由法曹団幹事長の加藤健次弁護士が講演し、安倍改憲のねらいを明らかにしました。9条改憲のねらいは、9条に自衛隊を書きこむことで、災害救助や「専守防衛」の自衛隊ではなく、「海外で戦争する自衛隊」へと変えることだと指摘しました。そして、軍事的価値を書きこむことで、水の中に一滴の墨汁を落としたように、憲法全体の性格を変えてしまうことだと説明しました。平和・人権・民主主義よりも、軍事が優先される憲法に変えられてしまうことを強調しました。



長尾ゆり副議長が報告をおこない、安倍政権は改憲の動きをトーンダウンさせていないこと、戦後最大の憲法の危機に、歴史的なたたかいで立ち向かおうと呼びかけました。全国市民アクションが結成され、「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」を3000万人の目標で取り組もうと呼びかけられたこと、全労連は500万人を目標に取り組むこと、この運動を全組合員参加の運動にするために、職場・地域での学習と「職場で憲法を語る人」を作ることが大切であることなどを提案しました。何よりも、「改憲を国会発議させないことがカギ」であり、「学習を力に出足早く取り組もう」と呼びかけました。

参加者は、「さっそく9の日行動から、この署名に取り組みたい」と、意欲満々。この署名は、まさに「待たれていた署名」です。

### 【各組織からの発言】

■生協労連 「憲法を語る人」を6000人つくる！

組合員一人5名の署名を提起する。さっそく、「9条にカンパイ！キをキャンペーン」を呼びかける。11月6日～12日を統一行動ゾーンとする。11月9日は、「イイネ、9条の日」として、全国一

斉に行動する。職場で「憲法を語る人」を6000人つくって、職場から憲法闘争をすすめる。平和であってこそその生協運動だ。理事と懇談を広げ、「労理共同宣言」をあげるなど、さらに共同を広げる。

#### ■千葉 小選挙区ごとに運動始まる

宣伝行動のなかで、聞こえるのは、「安倍はやめさせないと・・・」という声だ。13の小選挙区で市民連合がつくられ、それぞれにとりくみをすすめている。9月30日には、「安倍『壊憲』を許さない。9・30千葉県民集会」を予定している。県労連大会でも、憲法闘争の強化を意思統一する。

#### ■埼玉 タテとヨコをつなぐ全労連の役割発揮

「安倍9条改憲NO!」の署名には、100万の目標をかかげてとりくみたい。「安保関連法の廃止を求めるオール埼玉の会」で、共同を広げてきたことが力になり、15の小選挙区で連絡会が作られようとしている。各地で、「労働組合が共同行動の下支えをしてくれている」との声が聞かれる。単産と地方組織でできている全労連の存在価値が発揮され、タテとヨコをつないでいる。「女性のレッドアクション」や「女性の埼玉市民連合」など、女性の共同が全体をすすめる力となっている。

#### ■福祉保育労 ストライキも含めてたたかう

「平和こそ最大の福祉」だ。仕事の誇りもかけて、憲法闘争、平和課題にとりくむ。去年は、3月15日にストライキも含めて全国統一行動に立ち上がった。憲法を守り生かし、安心して働き、よりよい福祉を実現することと経済課題を結びつけて学習し討論して取り組んだ。今回の「安倍9条改憲NO!」署名も、大幅増員問題とあわせて同じ目標でとりくむ。園ぐるみの「労使共同宣言」もすすめていく。

#### ■全教 集まって「憲法カフェ」を

署名は「50万人」の目標で取り組む。7月の中央行動の翌日に緊急学習決起集会を行い、伊藤千尋さんの講演で学んだ。「9条を離さない」というビラを26万枚普及した。第2弾として「9条変えちゃダメ」というビラを作成中。とにかく集まって憲法を学び、話題にしようと、「憲法カフェ」を開こうと呼びかけている。

#### ■医労連 戦場に動員させない力「労使共同宣言」

戦争法の実体化を許さないために、「労使共同宣言」を上げようと呼びかけている。また、戦場に動員させない力になる「労使協定」を広げていく。運動を進めるには、学習がカギだが、月刊「医療労働」に連載した記事をまとめてブックレットにして、それをテキストに学習会を開く。「安倍9条改憲NO!」署名は、100万人を目標に取り組む。戦争で、莫大な数の医師・看護師が亡くなったことの反省に立ち、繰り返し学習し取り組みをすすめる。

#### ■自治労連 憲法キャラバンで、さらに共同を広げる

組合が政治課題に取り組むことへの疑問が良く出される。住民生活を守ることと、憲法課題の関連を明らかにする学習をすすめたい。憲法キャラバンで多くの自治体を訪問しているが、首長からは党派に関係なく「安倍の下での改憲は許さない」という声がよく聞かれる。公共交通を守る課題など、暮らしを守るために安倍政治を何とかしなければという思いは広がっている。

#### ■東京 自分の言葉で憲法を語る人を増やす

大学習運動を進めるために、10月11日に全都スタート集会をおこなう。職場の全組合員の取り組みとして、この運動をすすめるカギは、憲法を語る人、「憲法について自分の言葉で語る人」をどれだけ作るかだと思う。

